

マイナビニュースフォーラム

2018 Winter for データ活用

これからの企業経営に求められる データ基盤構築・分析とは

開催日時 2018年12月14日(金) 13:00~17:55 (受付 12:30~)

会場 ベルサール神保町 | 〒101-0065 東京都千代田区西神田3-2-1
住友不動産千代田ファーストビル南館2・3F

アクセス

- 「九段下駅」7番出口 徒歩3分(東西線)
- 「九段下駅」5番出口 徒歩4分(半蔵門線・新宿線)
- 「神保町駅」A2出口 徒歩5分(半蔵門線・新宿線・三田線)
- 「水道橋駅」A2出口 徒歩11分(三田線)
- 「水道橋駅」西口出口 徒歩8分(JR線)

参加対象 経営企画、事業企画、マーケティング、営業企画、サービス企画、システム管理ほか、
各部門のデータ管理・活用の責任者、ご担当者の皆さま

無料で招待
(事前登録制)

※申し込み締切日
2018年12月13日(木) 15:00まで

参加
定員 **300**名

開催にあたって

ものづくりの現場で稼動する機器から日々私たちが生活で使用するパソコンやスマホまで、現代社会を支える様々なモノはインターネットと繋がり、IoTの台頭により、世の中を飛び交うデータはさらに肥大化し続けています。社内、社外に散在するこれら大量のデータを、目的をもって効果的に収集、蓄積、分析、活用することで、ビジネスにおける新たな付加価値を生み出すことができます。

そのために、企業が取り組まなければならないこととはなにか。

マイナビニュースでは“これからの企業経営に求められるデータ基盤構築・分析とは”をテーマに、フォーラムを開催いたします。

フォーラムでは「流通・小売業」、「製造業」、「金融業」の3トラックに分けて講演を実施します。激化する競争に勝ち抜くためにはどのようにデータを活用していくべきなのか。各分野の様々な導入事例をご紹介しますながら、セミナーにご来場いただく皆さまにそのヒントを提示していきます。

会場のご案内



主催: マイナビニュース セミナー運営事務局 協力: 株式会社ビジネス・フォーラム事務局

本フォーラムの詳細・お申し込みはこちら

<http://www.b-forum.net/mnf2018/>



	【流通、小売トラック】 A-1	【製造業トラック】 B-1	【金融業トラック】 C-1
13:05 13:55	<p>ローソンのデジタル化戦略 ～コンビニエンスの先に目指すもの～</p> <p>全国に約15,000の店舗を有するコンビニエンスストア、ローソンでは、消費市場の縮小や少子高齢化による労働力不足といった喫緊の課題に対し、IoT、AI、ビッグデータ等、最先端のテクノロジー活用により、店舗運営の効率化とスタッフの負荷の抑制、消費者動向の予測を推進しています。本講演では、「次世代型コンビニ」を目指すローソンが描くコンビニエンスストアの未来像と、迅速な経営判断を可能にするデータの利活用について講演します。</p> <p>株式会社ローソン 理事執行役員 オープン・イノベーションセンター長 牧野 国嗣 氏</p>  <p>1992年 三菱商事入社。IT分野における事業の企画、立ち上げ、事業再生に従事。2002年からシリコンバレーに駐在し、先端テクノロジー同行の調査、米国ベンチャーとの提携、及びベンチャー投資に従事。現在はローソンのデジタル化を推進する各種プロジェクトの統括。</p>	<p>コマツが見据えるグローバルオープンイノベーション戦略</p> <p>激変するビジネス環境の下、企業には社会との共存共栄、持続可能性の視点が求められます。建設鉱山分野においても、労働災害の高止まりや熟練労働者の不足等、社会課題が山積しており、これらは世界共通の課題となっています。これらの課題解決のためには、市場・技術動向を監視し、明確なビジョンを持って顧客中心のものづくりを推進することが大切で、今後益々様々なパートナーとの連携が重要となります。本講演では、これまでの事例や今後の方向性の具体的な事例を通じ、データ活用、つながる化のメリットについて紹介します。</p> <p>株式会社小松製作所 CTO室 Program Director 富樫 良一 氏</p>  <p>1993年に株式会社小松製作所(コマツ)に入社後、新事業推進業務に従事。自走式破砕機、ハイブリッド油圧ショベルなどの設計・開発を手掛ける。2012年からオープンイノベーション推進業務に携わり、2014年のCTO室創設に伴い現職。年間の約半分をシリコンバレーで過ごし、世界の先端技術の情報収集、調査にあたる。他にも社外委員会活動として、研究産業・産業技術振興協会の研究開発マネジメント委員会委員長を務める。</p>	<p>みずほFinTechにおけるデータ利活用の取り組み</p> <p>銀行、信託、証券を傘下に有するみずほフィナンシャルグループは、中期経営計画(2016年)の基本方針において「金融イノベーションへの積極的取り組み」を設定。金融とテクノロジーの融合を意味するFinTechの戦略的な活用を進めてきました。本講演では、株式会社BlueLab(シリコンバレーのベンチャーキャピタル「WIL」と「みずほ銀行」で2017年に設立で培ってきた「クロスインダストリーの新しいビジネスモデル」について、実際の導入事例を元にAIやビッグデータの利活用観点からご紹介いたします。</p> <p>株式会社みずほフィナンシャルグループ デジタルイノベーション部 シニアデジタルストラテジスト兼 株式会社 Blue Lab 最高技術責任者(CTO) 大久保 光伸 氏</p>  <p>約17年間、規制当局のガイドラインに準拠した金融機関システムの企画・開発業務と、先端技術の活用調査・検討業務に従事。前職の金融機関では、日本初となる「ブリッククラウド」の導入をリードし、国内外で事例を公開。クラウドエコシステムの構築に貢献してきた。現在、株式会社みずほフィナンシャルグループにてデジタル戦略を担当しAI活用によるオープンイノベーションを推進。一方で、一般社団法人金融革新同盟会 FInOVATORSのFounder兼CTOとして、FinTechスタートアップへのメンタリングやブリックセクターへの提言、海外FinTech業界団体との連携等により金融イノベーションのエコシステム形成に携わる。2016年11月から一般社団法人Fintech協会のアドバイザーに就任。2017年7月より株式会社Blue LabのCTOを兼務。</p>
14:05 14:55	<p>【流通、小売トラック】 A-2</p> <p>テクノロジーを活用した顧客行動理解</p> <p>株式会社Francfranc 戦略企画部 ストラテジスト 奥野 悠一 氏</p>	<p>【製造業トラック】 B-2</p> <p>IoT/ビッグデータを本当に活用するためのクラウドデータ基盤の可能性 ～ハイブリッド×ニアリアルタイムで、データをビジネスに投入～</p> <p>Talend株式会社 カスタマーサクセス シニアマネージャー 正金 秀規 氏</p>	<p>【金融業トラック】 C-2</p> <p>『AI×モーメント分析』がデータビジネス成功の鍵 ～事例でみるデータ活用が回る仕組みと業務のあり方</p> <p>株式会社ビービット エグゼクティブマネージャー / エバンジェリスト 宮坂 祐 氏</p>
15:05 15:55	<p>【流通、小売トラック】 A-3</p> <p>小売業の業務効率化、コスト削減のためのデータ活用例</p> <p>株式会社パイブドビッツ</p>	<p>【製造業トラック】 B-3</p> <p>(講演内容調整中)</p> <p>クリックテック・ジャパン株式会社</p>	<p>【金融業トラック】 C-3</p> <p>(調整中)</p>
16:05 16:55	<p>【流通、小売トラック】 A-4</p> <p>拡張アナリティクスを実現する次世代型BI『Yellowfin8.0』および小売業界向け導入事例のご紹介(仮)</p> <p>テクマトリックス株式会社 カスタムメイドソリューション事業部 カスタマーソリューション営業課 課長代理 上村 巨樹 氏</p>	<p>【製造業トラック】 B-4</p> <p>データドリブン志向に向けて、今やるべきことは何か(仮)</p> <p>株式会社日立システムズ 産業・流通情報サービス第一事業部 第1システム本部 担当部長 石橋 政一郎 氏</p>	
17:05 17:55	<p>【流通、小売トラック】 A-5</p> <p>PARCOが進めるIoT/AIとデータ活用事例</p> <p>全国でショッピングセンターを運営するパルコでは、近年「24時間PARCO」というコンセプトの下、いつでも、どこでも、ショッピングの体験ができ、ショップスタッフとお客様がコミュニケーション可能なオムニチャネルプラットフォームを構築、進化させています。本講演では、スマートフォンアプリ「POCKET PARCO」や、店頭でのIoT/AI活用により蓄積したデータを駆使したマーケティング施策の展開事例をご紹介します。</p> <p>株式会社パルコ 執行役 グループICT戦略室担当 林 直孝 氏</p>  <p>パルコ入社後、全国の店舗、本部及び、Web事業を行う関連会社株式会社パルコ・シティ(現株式会社パルコデジタルマーケティング)を歴任。店舗のICT活用やハウスカードとスマホアプリを連携した顧客マーケティングを推進する「WEB/マーケティング部」等を担当。2017年3月より、新設された「グループICT戦略室」でパルコグループ各事業のオムニチャネル化、ICTを活用したビジネスマネジメント改革を推進。</p>	<p>【製造業トラック】 B-5</p> <p>データの『価値化』に挑む ～ミシュランがIoTで掲げる「タイヤの見える化戦略」とは</p> <p>輸送業界は、e-commerce市場の拡大によるドライバー不足と、高齢化が深刻化しています。ミシュランは高品質で特徴のあるタイヤと新たなサービスを提供する事により、その課題を解決したいと考えています。シングルタイヤ X Oneは車輻の大幅な軽量化に寄与する事を可能にします。IoTで空気圧情報を共有し、パンクを未然に防ぐ「TPMSクラウドサービス」やドライバーの為に満足度調査「ドライバー診断パッケージ」等の新サービスも提供を開始し致しました。運送事業者の「困りごと」を解決し、モビリティに貢献するミシュランのデータ活用社会に備えたビジョンをご紹介します。</p> <p>日本ミシュランタイヤ株式会社 B2Bタイヤ事業部 常務執行役員 高橋 敬明 氏</p>  <p>2003年日本ミシュランタイヤ株式会社に入社後、トラック・バスタイヤの国内市場営業、アジアパシフィック直轄事業等に従事。2010年英国ミシュランにてセールスプロセス開発に携わった後、2011年トラック・バスタイヤ事業部執行役員に就任。2018年B2Bタイヤ事業部(航空機、農業機械、建設機械、トラック/バス)統合に伴い現職。</p>	